

分科会開催報告書

報告日	平成 29 年 2 月 3 日	報告者	小幡 友子																																	
分科会名	浮雲俳句会	開催テーマ	第 106 回浮雲俳句会例会																																	
開催日時	平成 29 年 1 月 29 日 (日) 午前 9:30~11:30	開催場所	能見台地区センター多目的室 B																																	
参加人数	“わ”の会会員 男 12 名 女 5 名	合計	17 名 欠席者 0 名																																	
<p>実施内容</p> <p>第 106 回例会の出句は、兼題の①富士五湖 ②時候（晩冬）と当季雑詠の 4 句。句会は、大川会員による添削披露及び、田中十九会員による選句の披講の後、北野主宰から天・地・人賞及び、特選 5 句、佳作 9 句の発表と、夫々の句についての論評があった。</p> <table border="0"> <tr> <td>天賞句</td> <td>富士五湖や映す寒富士影五景</td> <td>重 九</td> </tr> <tr> <td>地賞句</td> <td>波の花千枚田の空駆けのぼり</td> <td>あきえ</td> </tr> <tr> <td>人賞句</td> <td>冬の朝ひと息染める空の藍</td> <td>和 女</td> </tr> <tr> <td>特選句</td> <td>富士五湖の紫紺の黙に寒の月</td> <td>とも女</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上弦の寒月凜と富士五湖へ</td> <td>一 馬</td> </tr> <tr> <td></td> <td>春間近ステップ軽ろきルンバかな</td> <td>勇 平</td> </tr> <tr> <td></td> <td>飮して待つを覚えし四温かな</td> <td>二 祥</td> </tr> <tr> <td></td> <td>乾坤に満つ大寒の息づかひ</td> <td>十 九</td> </tr> </table> <p>主宰の指導</p> <p>① 助詞は、一語でニュアンスが変わってくるので、いろいろ置き換えて効果的に選ぶように。（例 も、の て、に、を、は、）</p> <p>② 句に動きを入れると、生き生きしてくるので工夫されたい。</p> <p>会員選高点句</p> <table border="0"> <tr> <td>8 点句</td> <td>波の花千枚田の空駆けのぼり</td> <td>あきえ</td> </tr> <tr> <td>6 点句</td> <td>富士五湖の紫紺の黙に寒の月</td> <td>とも女</td> </tr> <tr> <td>5 点句</td> <td>大寒の富士泰然と雲寄せず</td> <td>一 清</td> </tr> </table> <p>次回の予定</p> <p>平成 29 年 2 月 26 日 (日) 午前 9 時 30 分～ 11 時 30 分 能見台地区センター多目的室 B</p> <p>107 回例会 兼題 ①伊豆沼 ②初春の天文 他に当期雑詠 2 句 披講 長島和女会員</p> <p>その他</p> <p>次回より、選句表のサイズを A-4 版に変更します。</p>				天賞句	富士五湖や映す寒富士影五景	重 九	地賞句	波の花千枚田の空駆けのぼり	あきえ	人賞句	冬の朝ひと息染める空の藍	和 女	特選句	富士五湖の紫紺の黙に寒の月	とも女		上弦の寒月凜と富士五湖へ	一 馬		春間近ステップ軽ろきルンバかな	勇 平		飮して待つを覚えし四温かな	二 祥		乾坤に満つ大寒の息づかひ	十 九	8 点句	波の花千枚田の空駆けのぼり	あきえ	6 点句	富士五湖の紫紺の黙に寒の月	とも女	5 点句	大寒の富士泰然と雲寄せず	一 清
天賞句	富士五湖や映す寒富士影五景	重 九																																		
地賞句	波の花千枚田の空駆けのぼり	あきえ																																		
人賞句	冬の朝ひと息染める空の藍	和 女																																		
特選句	富士五湖の紫紺の黙に寒の月	とも女																																		
	上弦の寒月凜と富士五湖へ	一 馬																																		
	春間近ステップ軽ろきルンバかな	勇 平																																		
	飮して待つを覚えし四温かな	二 祥																																		
	乾坤に満つ大寒の息づかひ	十 九																																		
8 点句	波の花千枚田の空駆けのぼり	あきえ																																		
6 点句	富士五湖の紫紺の黙に寒の月	とも女																																		
5 点句	大寒の富士泰然と雲寄せず	一 清																																		